

# 中小野中新聞

## ★生徒の活躍★

### ☆市内総体

#### 〔団体の部〕

- サッカー部 準優勝 ※
- バレーボール男子 優勝 ※
- バスケットボール男子 準優勝 ※
- ソフトテニス男子 優勝 ※
- ソフトテニス女子 準優勝 ※
- 卓球 男子 準優勝 ※
- 野球部 準優勝 ※

※東播大会に出場します。

#### 〔個人の部〕

- 柔道 男子-50 kg 1位
- 男子-55 kg 2位
- 男子-60 kg 1位
- 男子-66 kg 2位
- 男子-73 kg 1位
- 男子-81 kg 2位
- 男子-90 kg 1位
- 男子+90 kg 2位
- 女子-63 kg 1位
- 女子-63 kg 2位

2位までを載せています。出場者全員が東播大会に進みます。

#### 卓球女子個人

- 優勝
- 準優勝
- 第5位

3名が東播大会に進みます。

#### ソフトテニス男子個人

- 優勝
- 第3位
- 第5位
- 第5位

4ペアが東播大会に進みます。

#### ソフトテニス女子個人

- 準優勝
- 第3位
- 第5位

3ペアが東播大会に進みます。

#### 陸上（東播出場者）

- 男子1年 100 m 1名
- 1年 1500 m 1名
- 共通 1500 m 1名
- 共通 3000 m 1名
- 2年 100 m 1名
- 共通四種競技
- 3年 100 m 2名
- 共通 110 mH 2名
- 女子1年 800 m 2名
- 1年 100 m 2名
- 2年 100 m 2名
- 共通 100 mH 2名
- 共通四種競技 1名
- 3年 100 m 2名
- 共通 200 m 1名
- 共通砲丸投げ 1名

## ◆主な学校行事◆

- 期末テスト 6月30日～7月2日
- 三者懇談 7月26日～30日
- 1学期終業式 7月20日
- 2学期始業式 8月27日
- 体育祭(午前開催) 9月11日
- 市内新人大会 9月25日
- 中間テスト 10月7・8日
- 修学旅行 10月19～21日
- 人権週間 10月25日～11月5日
- 期末テスト 11月24日～26日
- 三者懇談 12月14日～22日
- 2学期終業式 12月23日

(その他の行事は決定次第、メール、ホームページ等で随時お知らせいたします。)

## 7年生だより

入学後約三か月が経ち、中学校の生活にも慣れ、学習・部活・専門部活動に一生懸命に取り組み姿が見られます。授業では様々な教科で Chromebook を使った授業や SNS 学習の授業をクラスみんなで楽しそうに学習しています。また、部活動では朝練習も本格的に始まり、元氣よく参加している人もいます。



先日、9年生ではキャリア教育の一環として進路説明会が行われていました。7年生も何があるのかを多

の利器ですが使い方を間違えれば凶器にもなります。テスト後の時間ですが、充実した時間にしましょう。

### 保護者のみなさまへ

前述の通り e ネットキャラバンが行われます。ご家庭でも一度スマホや SNS、インターネットの使い方を確認する機会としていただければ幸いです。お子様のスマホ使用については保護者の責任の下、ご家庭でルールをお子様とつくった上で使用させるようお願いいたします。

## 8年生だより

1学期が始まってから、三か月が経とうとしています。まだまだコロナの影響が心配な現状ですが、学校生活は日々続いています。先日、小野市総体が昨年同様9年生の保護者のみの観戦で行われました。部によって結果は異なりますが、はい部では新チームがスタートしました。8年生が先輩を引っ張り、部活動をまとめていく学年になりました。これから、8年生は先輩からいろいろなことを引き継ぎ、学校を引っ張っていく立場に立つようになります。夏休みを終え、2学期の終わりには生徒会本部役員選挙が行われます。これまでは、先輩についていくだけでよかったことがこれからは8年生一人ひとりが自立し、先輩のよき見本にならなといけません。これからの成長が楽しみです。

## 9年生だより

市内総体が無事開催され、保護者の皆様の熱い応援の中、各会場では熱戦が繰り広げられました。7年生の時からは、これまで取り組んだ部活動の時間は、子ども達にとっても大切な時間だったと思います。子ども達は、一生忘れられない

素晴らしい瞬間を共有できる仲間がいたことや、送迎やお弁当作り、休日を返上しての応援等で今まで支えていただいた保護者の方に感謝していることと思います。総体は最後の大会であってもゴールではありません。部活動を通して得た体力、精神力、チームメイトとの友情、礼儀……。これからの生活の中で生かしていくことがお世話になった部活動への恩返しと考え、9年生としてあるべき姿を後輩たちに示してほしいと思っています。

東播大会に出場する部活動のみなさんは、これに満足せず、より一層大きな高みを目指して下さい。東播大会、県大会、近畿大会、全国大会と上のステージにいけばいくほど、今まで見えなかった景色と雰囲気を感じることが出来ます。より一層の努力を期待しています。「実るほど頭(こぶ)を垂れる稲穂かな」という言葉があります。実績をあげた人ほど謙虚に相手を思いやり、決しておごる(い)い気になって、弱い人をばかにすることはない、という意味です。強さは、やさしさにつながります。人として本当に強い人になってください。皆さんの健闘を祈っています。

1学期もあと3週間。21日くらいいよいよ夏休みが始まります。今までの夏休みと違い、今年の夏は9年生全員が自分の進路希望を見据え、自分を律しながら努力を継続していくことが必要となります。部活動を通して学んだ「苦しくてもがんばる忍耐力」「プレッシャーに負けない精神力」「毎日練習を続ける持続力」「目標に向かって努力する力」をこの夏休みに是非発揮し、自分の目標に向かって前進して欲しいと思います。「努力は人を裏切らない」との言葉を信じて頑張り抜いてくれることを期待しています。

# 小野市立小野中学校長

駒田 茂

## ◎小野市総体を終えて

6月18日・19日・20日で、小野市総体が開催されました。

コロナ禍の影響により、7年生は参加できず、観戦の人数も制限される中で大会ではありましたが、小野中学校の各チームの戦いぶりは、観戦者を熱くさせてくれました。勝者が決まれば、そこには必ず敗者が生まれます。どうしても結果がクローズアップされがちですが、全員で一つのことに向かう姿勢や一体感が最も大切だと思います。

「点が入ってうれしい」や「少しの差で負けてしまつて悔しい」など、様々な思いが選手と応援団の垣根を越えて共感しあえることがスポーツの醍醐味です。小野中の試合は、そんな思いを分かち合えた、「全員が一つになった試合」だったと思います。

また、相手にリードされている状況で、得点を奪いにいこうとする9年生の表情は、研ぎ澄まされ、とてもかっこよく、輝いて見えました。ケガや脚の痙攣にも耐えながら走り続ける、その姿を見るのができなかった7年生には、8年生がしっかりと伝えてほしいと思います。

特に9年生には、体力、技能以外の力、「精神力」の向上を讃えてやりたいと思います。

東播大会に出場する部や個人は、小野中だけでなく、小野市の代表として胸を張って臨んで欲しいと願います。健闘を祈っています。



## ◎進路説明会

6月22日(火)に第1回進路説明会を開催しました。入試制度についての詳しい説明がありましたが、保護者のみでの説明会でしたので、冒頭での学校長あいさつを紹介します。

お子様の進路につきましては、皆さんの最大の関心事であるとともに、最も不安を抱えておられることと思います。学校としましては、保護者のみなさまやお子さんの不安に寄り添い、支援していけるよう全力を尽くしていきたいと考えております。

私からは、進路決定に向けて二点お話をさせていただきます。

一つ目は、生徒のみなさんが進路を決定するにあたっては、〇〇高校に行きたいだけではなく、自分のこれからの長い人生を展望し「自分は、将来どのような職業につきたいのか」「どのような生き方をしたいのか」ということをじっくりと考える機会にしてほしいと思

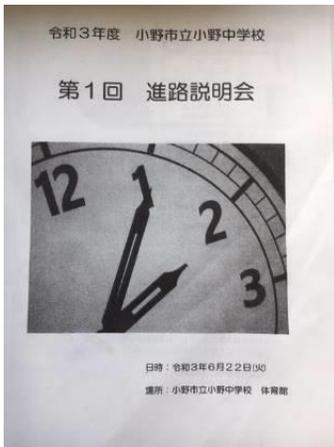
ます。

二つ目は保護者のみなさまへのお願いです。「進路決定に向けて、親子での話し合いをしっかり重ねておいてください。」ということです。進路決定は、他の子どもと比較するべきものではありません。お子さんの性格・学力・興味関心・将来の希望、さらには、家庭の状況なども考えながら、人生の先輩として応援や助言をしてあげてください。

互いに話せる雰囲気づくりを大切にしながら、親子の合意形成をお願いいたします。

先週小野市総体が終わり、部活動に一区切りついた生徒と、東播・県総体に向けて、部活動と勉強を両立する生徒に分かれます。Time is money(時は金なり)という言葉があるように、過ぎ去った時間は帰ってきません。新しくできた時間をいかに有効活用できるか、逆に限られた時間をいかに有効活用できるかが大切になってきます。

皆さん一人ひとりにとって、より良い進路選択が実現できるよう、私たちも精一杯応援していきますので、一緒に子どもたちを支えていきましょう。



## ◎社会に出ても困らない

「あいさつ」を身につけよう！



あいさつは、他人とのコミュニケーションの基本であり、その人の印象を左右する非常に大切なことです。それは社会人になっても同じで、ビジネスのシーンでは、正しいあいさつができることが最低条件になります。場面に合わせた正しいあいさつの仕方や、言葉の使い方をも身につけていきましょう。

あいさつの基本は自分からするということです。中には、相手があいさつをしてきたら、自分も返そうと考える人もいるかもしれませんが、目上の人に挨拶をされるまで待つ、あるいは相手があいさつをしてこなかったからといって、自分もしないというのは、失礼にあたります。

反対に、自分から積極的にあいさつをすれば、相手はよい印象を持つことができます。次のことを踏まえて、積極的に自分からあいさつをするように心がけてみましょう。

### (1)声

明るく元気な声であいさつを！  
その際、はっきりと発音すると好感度がアップします。ただし、静かな場所や狭い場所で大声を出すのは場違いです。シーンに応じて声の大きさを調整しましょう。

### (2)表情と視線

相手の方向や目を見て、明るい表情を心がけましょう。いくら元気な声で挨拶をしても、視線をそらしたり表情が暗かったりすると、せつかくの挨拶もかえって悪い印象を与えてしまうことも。

### (3)姿勢

あいさつを終えるタイミングでお辞儀を添えると、より心こもった挨拶になります。

### (4)気をつけたいポイント

廊下などで、先輩や先生方とすれ違った場合、歩きながら挨拶をするのは失礼にあたります。一度立ち止まってから挨拶をしましょう。

## 【小野中学校の現状】

毎朝、正門前でみなさんを迎える中で、上記(1)～(3)をパーフェクトにできる生徒がたくさんいます。(4)は努力目標ですが、できている生徒もいます。

その一方、コロナの影響もありますが、あいさつの声が小さかったり、こちらからあいさつをしても視線を合わせてくれない生徒がいます。声の大小は個人差があつて仕方ありませんが、視線を合わせて、しっかりと挨拶をすれば、相手に気持ちは伝わります。

自分のあいさつを見つめなおし、社会に出ても困らないあいさつを身につけていきましょう！

